

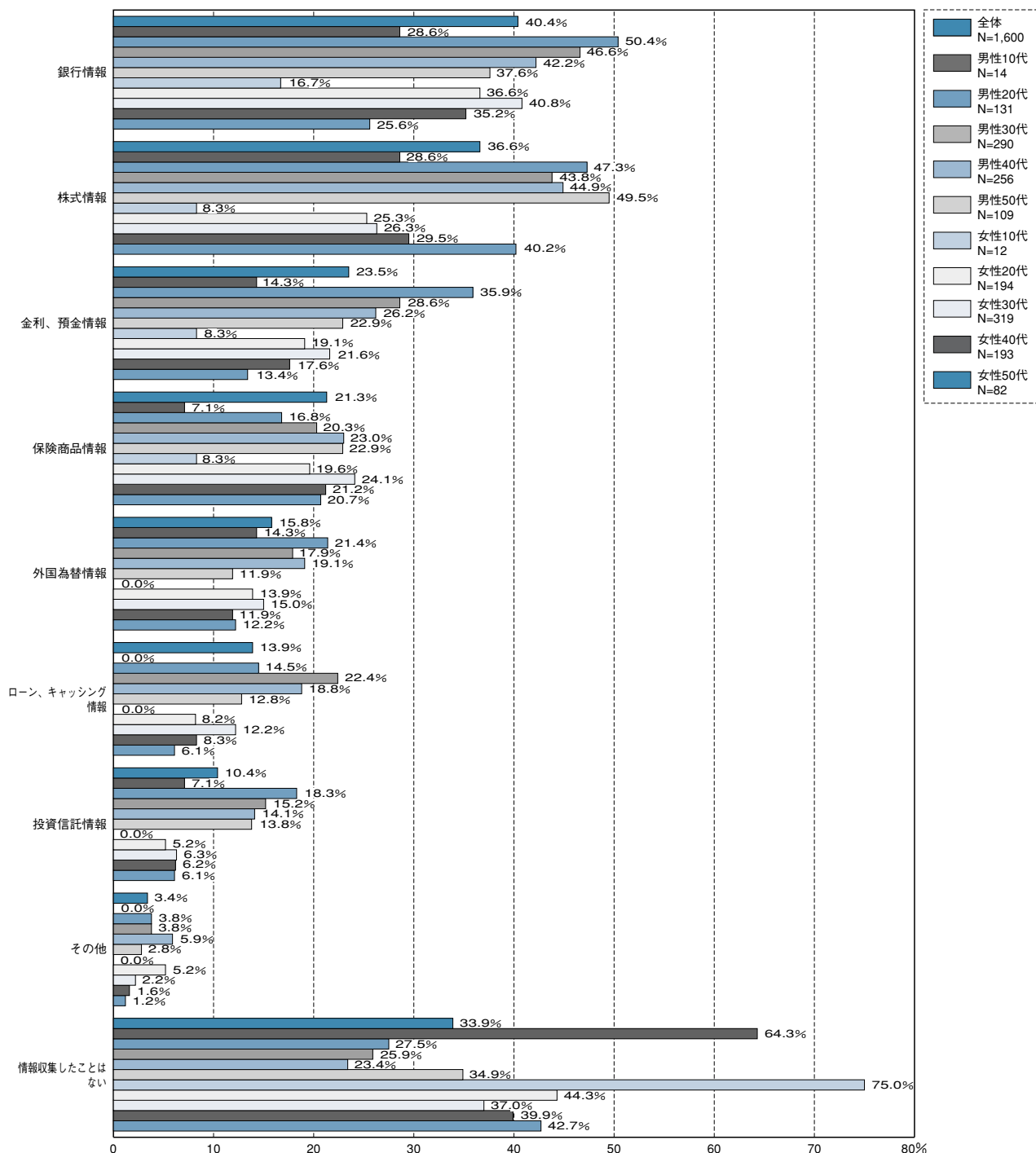
インターネットファイナンス

3分の2が金融情報収集経験あり、年代によって収集内容に差も

資料2-4-53 金融情報の収集経験 [全体と年代別と性別]

第2部

個人利用者動向



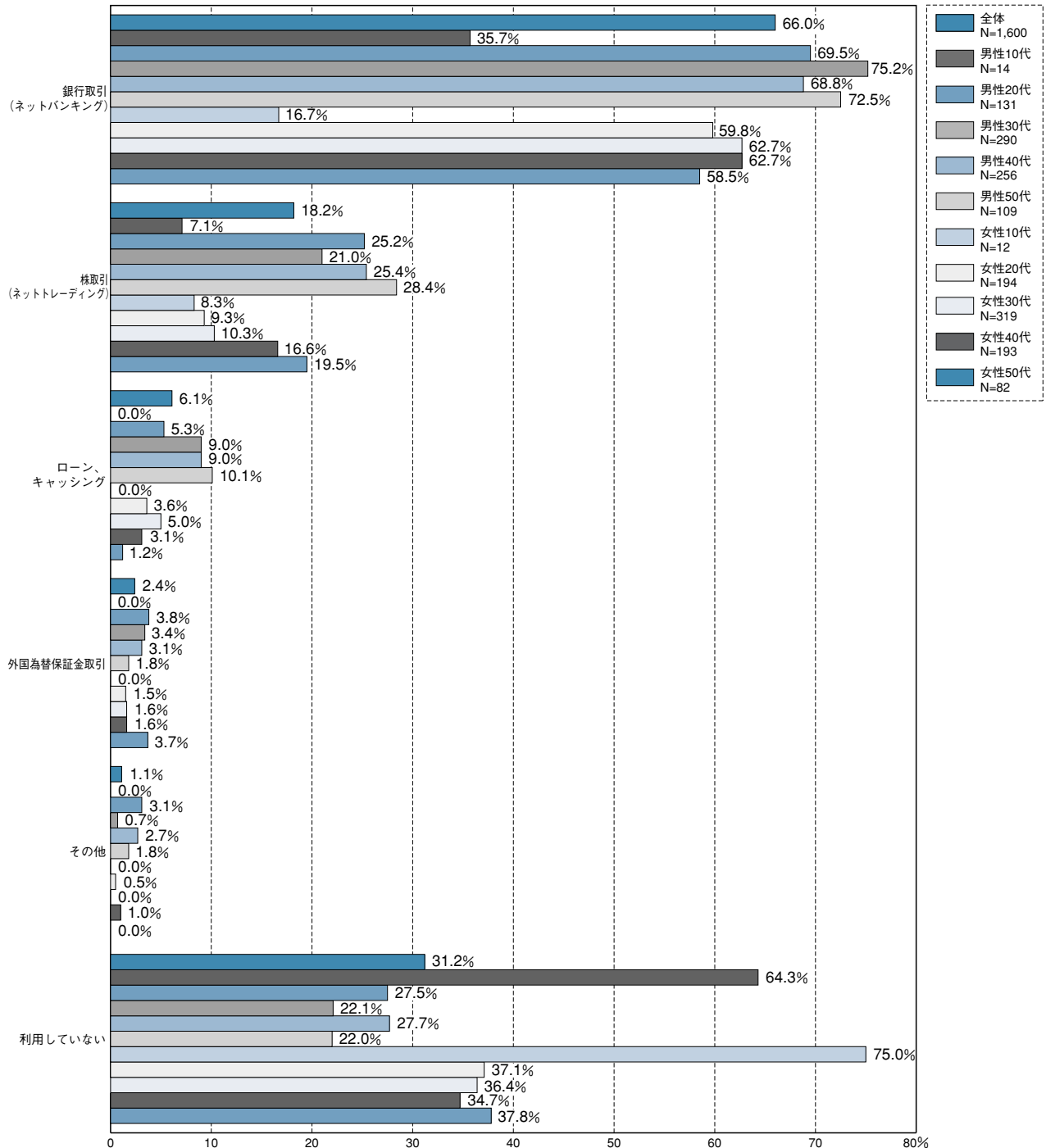
インターネットによる金融情報の収集については、約3分の2のユーザーが経験を持っている。女性より男性の利用経験率が高く、また30代、40代がほかの年代よりも高くなっている。情報の内容に関しては、「銀行情報」が40.4%で最多、次いで「株式情報」が36.6%となっている。男性50代では「株式情報」が49.5%とトップにあがっている。

©impress,2005

インターネットファイナンス

利用経験がある金融取引はネットバンキングが66.0%でトップ

資料2-4-54 利用したインターネット金融取引のサービス【全体と年代別と性別】



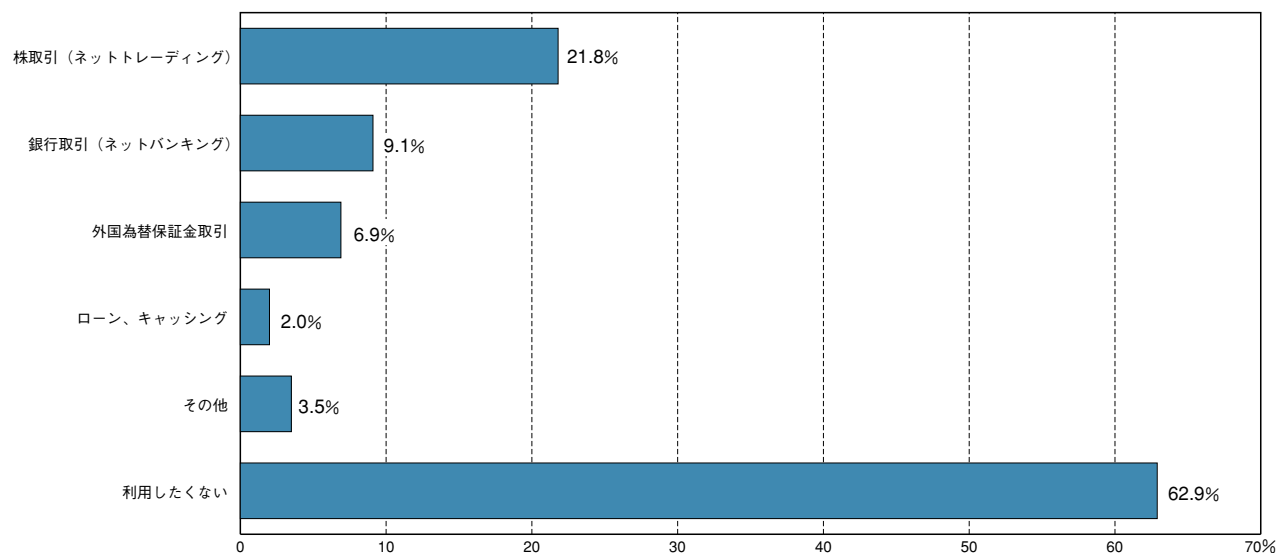
©impress,2005

インターネットで利用したことのある金融取引を聞いたところ、66.0%の人が「銀行取引（ネットバンキング）」と回答。オンラインショッピングやオークションの利用にともない、ネットバンキング利用経験者も多くなっているものと思われる。また、年代が上がるにつれて「株取引（ネットトレーディング）」利用経験者の割合が増加する傾向がみられる。

インターネットファイナンス

利用意向のトップは株取引、新規のインターネット金融取引には消極傾向

資料2-4-55 インターネット金融取引の利用意向（複数回答） N=1,598

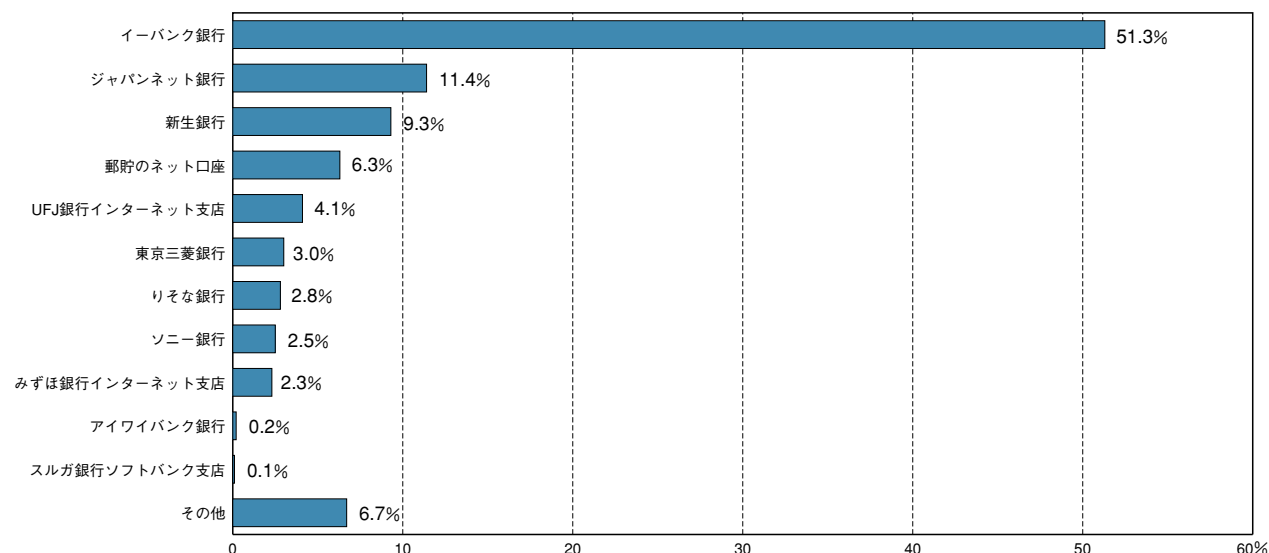


現在まで取引経験のないインターネット金融取引について今後の利用意向を聞いたところ、「株取引（ネットトレーディング）」が21.8%で最も高かった。手軽に株取引ができるネットトレーディングに対する関心度の高さがうかがえる。ただし、現在取引しているもの以外は「利用したくない」と回答した人が62.9%と、全体的にはインターネット金融取引に対して消極的であるといえる。

©impress,2005

利用者の5割が「イーバンク銀行」に口座を開設

資料2-4-56 口座を開設しているインターネット専門銀行（単一回答） N=1,056



ネットバンキング利用者1,056サンプルに最もよく利用しているインターネット専門銀行を聞いたところ、「イーバンク銀行」が51.3%で最も高く過半数を占め、「ジャパンネット銀行」が11.4%で次ぐ。「イーバンク銀行」の口座開設率の高さは、オンラインショッピングやオークションでの利便性、金利や手数料サービスのよさに起因すると考えられる。

©impress,2005



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp